

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報発表について

県では、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)に基づき感染症発生動向調査を実施しております。令和7年第8週(2/17~2/23)の調査において、下記のとおり、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点医療機関当たりの患者報告数が仙南保健所管内で警報開始基準値を超えたこと、第7週から第8週にかけて多くの保健所管内で患者報告数が増加していることなどを総合的に判断した結果、警報を発表しますのでお知らせいたします。

○各保健所管内における1 定点医療機関当たりのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数(人)

| | 令和7年 疫学週 | | | | | | | |
|---------|----------|------|------|------|------|------|------|--|
| | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 第5週 | 第6週 | 第7週 | 第8週 |
| 仙南 | 0.25 | 1.75 | 1.50 | 2.50 | 2.25 | 4.00 | 4.25 | 9.00  |
| 塩釜 | 0.40 | 1.70 | 2.50 | 2.40 | 3.50 | 2.80 | 3.40 | 2.90 |
| 大崎 | 0.17 | 2.33 | 2.83 | 2.00 | 1.33 | 2.67 | 0.83 | 2.17  |
| 石巻 | 0.50 | 1.33 | 1.83 | 1.33 | 1.17 | 2.33 | 1.67 | 6.00  |
| 気仙沼 | 1.00 | 1.00 | 3.00 | 2.50 | 1.00 | 1.00 | 0.00 | 0.50  |
| 仙台市 | 0.74 | 1.93 | 1.07 | 1.52 | 2.67 | 1.70 | 1.89 | 2.04  |
| 宮城県(全体) | 0.56 | 1.82 | 1.71 | 1.82 | 2.42 | 2.22 | 2.13 | 3.09  |

※  :警報開始基準値(8)を超える値

今後、更なる感染者数の増加が予測されます。感染拡大を予防するため、咳エチケットや手洗いなどの基本的感染対策の徹底をお願いします。

～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは～

原因:A群溶血性レンサ球菌により感染します。

症状:主な症状としては、発熱、咽頭発赤、莓状の舌等があり、熱は3日から5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱(しょうこうねつ)」に移行することがあります。

潜伏期間:2~5日

治療:症状に応じた対症療法や、抗菌薬による治療が行われます。

感染経路:飛沫感染(咳やくしゃみで飛散した飛沫の中の細菌により感染します。)

接触感染(細菌が付着した手で口や鼻に触ることにより感染します。)

～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の予防～

- 「咳エチケット」を実施しましょう。
 - 咳やくしゃみを他の人に向けて発しない。また、ハンカチやティッシュで口と鼻を覆う。
 - 咳やくしゃみが出るときはマスクをする。
- 外出後や食事の前などは、こまめに石けんと流水による十分な手洗いを徹底しましょう。
- 家族や身近な方が感染した場合は、タオルなどの共用を避けましょう。

宮城県内における1定点医療機関当たりのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数

